

市民海外研修 in 台湾

平成25年8月17日(土)～23日(金)

団長の徳野於福中学校長を含めた引率教員2人と、市内14人の中学生が、美祢市と友好交流の促進に関する確認書を締結した「台湾水里郷」を訪問しました。水里郷にある水里中学校において、水里郷江龍漢(カ リウカ)郷長、水里中学校陳啓濃(チン ケイノウ)校長をはじめ、先生方や生徒から熱烈な歓迎を受けました。

生徒間交流はわずか2日間でしたが、水里蛇窯での陶芸体験、車埕(シヤチ)での台湾木業博物館と車埕駅の見学、水里中学校の生徒宅でのホームステイ・台湾料理体験・水墨画体験などで、台湾生活を堪能することができました。

水里中学校の生徒は、美祢市の中学生に寄り添い、適宜アドバイスをくれました。言葉の違いを超えて、交流を深めることができました。



英語での自己紹介



台湾料理体験

【参加した生徒の研修記録より】

8月17日、まだ朝日が昇っていないころ、美祢市役所へみんなが集まりました。みんなの顔は輝いていて、いいスタートが切れそうな気がしました。出発式では、徳野団長が、みんなの心に入力を入れられ、気持ちを引き締めてバスに乗り込みました。バスに乗ったとき、これから1週間、家族や友達に会えないと考えると、少し寂しくなりましたが、何故か笑顔でいることができました。きっと「寂しさ」という感情よりも、「楽しみ」という感情の方が強かったんだと思います。

私たちは飛行機に乗り、海を渡って無事台湾へと到着しました。着いたらすぐに昼食を食べに行きました。私たちは初めて本場の台湾料理が食べられると思ってわくわくしていましたが、香辛料やニンニクがたくさん使われている料理は、たくさんは食べられませんでしたが、しかし、これが日本と台湾の食文化の違いだと、肌で感じることができました。(1日目より抜粋)



水里中学校にて



水里蛇窯にて



水墨画体験



水利中学校生と一緒に校舎めぐり

7日目の午後は、みんなでいよいよ日本に帰ります。美祢市台北事務所を訪問した後、バスで台湾桃園国際空港へ向かいました。バスの車内で、ガイドさんから「日本に帰りたくない人？」と聞かれたら、全員が手を挙げていました。14人全員が、男女ともに7日間で絆が深まり、本当にそれぞれが離れたくない気持ちだったと思います。すると、ガイドさんは、「じゃあ、僕と一緒にこのままバスで台北に帰りましょう。」とおっしゃって、笑いが起きました。

美祢市に着いたのは30分遅れでしたが、美祢市役所にて家族と感動の再会を果たしました。(7日目より抜粋)



わたしの学校 ぼくの学校

大嶺中五箇条の達成に向けて！

大嶺中学校

- 一、気持ちのよいあいさつをしよう
- 二、敬語を使おう
- 三、授業を大切にしよう
- 四、校歌を大きな声で歌おう
- 五、黙動をしよう

これは、昨年度生徒会が作成した「大嶺中五箇条」です。本年度は、これを学校のチャレンジ目標にしています。6月の生徒総会では、「大嶺中五箇条」の実現に向けて、全校生徒で話し合いを行いました。大嶺中学校では、生徒・教職員・保護者・地域が一体となって、新しい校舎で新しい伝統を築いていきます。



美祿市教委から発信します

10月下旬に行われる「学力定着状況確認問題」で、今の自分の力を確かめ、新たなステップを踏み出そう！

10月下旬、県内すべての小学3年生～中学2年生を対象に「学力学習状況確認問題」が実施されます。これは、子どもたちの学力の確実な定着と向上をねらって県教育委員会が行う取組です。各学校においては、この結果を受けて指導の改善・充実を図っていきます。

ご家庭におかれましても、結果から明らかになった現時点での子どもたちの課題を克服するために、日々の授業の予習・復習の充実とともに、「やまぐちっ子学習プリント」等をうまく活用し、よりいっそう家庭学習の充実を図っていただきますようお願いいたします。



「学力定着状況確認問題」

<小学校> 1教科40分

3・4・6年生・・・国語、算数

5年生・・・国語、社会、算数、理科

<中学校> 1教科45分

1年生・・・国語、数学

2年生・・・国語、社会、数学、理科、英語

第16回日本ジャンボリー(第30回アジア太平洋地域スカウトジャンボリー)歓迎式典

8月6日凶美祿市民会館大ホールで、「第16回日本ジャンボリー(第30回アジア太平洋地域スカウトジャンボリー)歓迎式典」を行いました。この歓迎式典の目的は、国際交流の促進と児童・生徒のコミュニケーション能力の向上、そして、「交流拠点都市美祿市」のまちづくりに資することです。世界各国及び日本各地のボーイスカウト約130人を迎え入れ、美祿市の魅力を積極的に伝えるとともに、交流を深めました。



秋吉小学校の児童による
壮大な「草炎太鼓」の演奏

ジャンボリーとは？

「ジャンボリー」は、4年に1度開かれるスカウトの大会で、キャンプをしながら国内外の仲間と体験を共有します。今回の日本ジャンボリーは、2年後に行われる「第23回世界スカウトジャンボリー」のプレ大会として行われました。

Quiz あててみ～ね!

この日は、「美祿子ども交流塾」の塾生が、歓迎から司会進行、プレゼン、送迎までのほとんどを担当しました。司会やスピーチ、アトラクション(美祿市紹介DVD・美祿市紹介クイズ「あててみ～ね!」)は、英語と日本語の両方で行いました。



MINE City is a great place!

